

新潟西商工会景況調査報告書

景況調査については各機関で実施しており、その結果は実施機関のほか新聞等マスコミでも公表されおりますが、地区内に絞って調査されたものはなく、県内、市内の景況と地区内景況の違いや、特に小規模事業者の景況感の相違を感じております。そこで、当会では、地区内小規模事業者等の経営状況を把握し、今後の事業活動や事業者支援の参考にすることを目的に景況調査を年2回、上期、下期に実施しています。

今回、30年下期の調査結果がまとまりましたのでご報告申し上げますと共に、今後の経営改善普及事業に役立てていきたいと考えております。皆様のご要望などございましたら、お気軽にお聞かせください。

1. 調査要領

(1) 調査対象

- ア 対象地区 新潟西商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)
ウ 回答企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)
(回答率 100.0%)

(2) 調査対象期間

- 平成30年7月～平成30年12月
(調査時点 平成30年12月1日)

(3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	8	16.0%	8	16.0%
建設業	9	18.0%	9	18.0%
卸・小売業	12	24.0%	12	24.0%
サービス業	21	42.0%	21	42.0%
合計	50	100.0%	50	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

店舗改装や新たな販路開拓などに取り組んでいる事業所において一部好転がみられるが、全体をみると、仕入単価の上昇や従業員の確保が課題となっており、厳しい状況が続いている。製造業においては、来期の見通しにおいて不変とした事業所が最も多く、仕入単価の高止まりによる採算への影響が懸念される。

【後継者の状況】

後継者がいる事業所は26%であり、74%の事業所には後継者がおらず、事業承継が課題である。

後継者 あり	13事業所	26.0%
後継者 なし	37事業所	74.0%

【売上高】

売上高は、前年同期比で不変もしくは減少とした事業所がそれぞれ36%と最も多く、前期比では減少とした事業所が36%で最も多かった。

今後の見通しにおいても、40%の事業所が減少と回答し、増加と回答した28%を上回っており、売上高増加の取組が今後の課題である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
14	18	18	15	17	18	14	16	20

【採算】

採算は、前年同期比で不変とした事業所が60%、前期比で不変とした事業所が54%であり、その割合は減少している。

今後の見通しにおいても、不変と回答した事業所が48%と最も多く、悪化が32%、好転が20%となっており、厳しい状況がうかがえる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
9	30	11	8	27	15	10	24	16

【仕入単価】

仕入単価は、前年同期比で上昇または不変とした事業所が94%、前期比では上昇または不変とした事業所は92%であった。

今後の見通しにおいても、94%の事業所が上昇または不変と回答しており、仕入単価の上昇による採算への影響が懸念される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
20	27	3	18	28	4	16	31	3

【販売（客）単価】

販売（客）単価は、前年同期比で不変とした事業所が52%、低下が30%、上昇が18%であった。今後の見通しにおいては、58%の事業所が不変と回答しており、販売（客）単価を上げる取組が今後の課題である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
9	26	15	4	33	13	8	29	13

【資金繰り】

資金繰りは、悪化と回答した事業所が前年同期比で16%、前期比で20%となっており、好転と回答した事業所を大きく上回っている。
 今後の見通しにおいても、22%が悪化、74%が不変と回答しており、厳しい状況が続くと予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
4	38	8	3	37	10	2	37	11

【雇用動向】

雇用動向は、前年同期比で不変とした事業所が86%と最も多く、前期比でも不変とした事業所が84%と最も多かった。
 今後の見通しにおいても、78%の事業所が不変と回答しており、雇用動向は変わらない状況が続くと予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
2	43	5	1	42	7	5	39	6

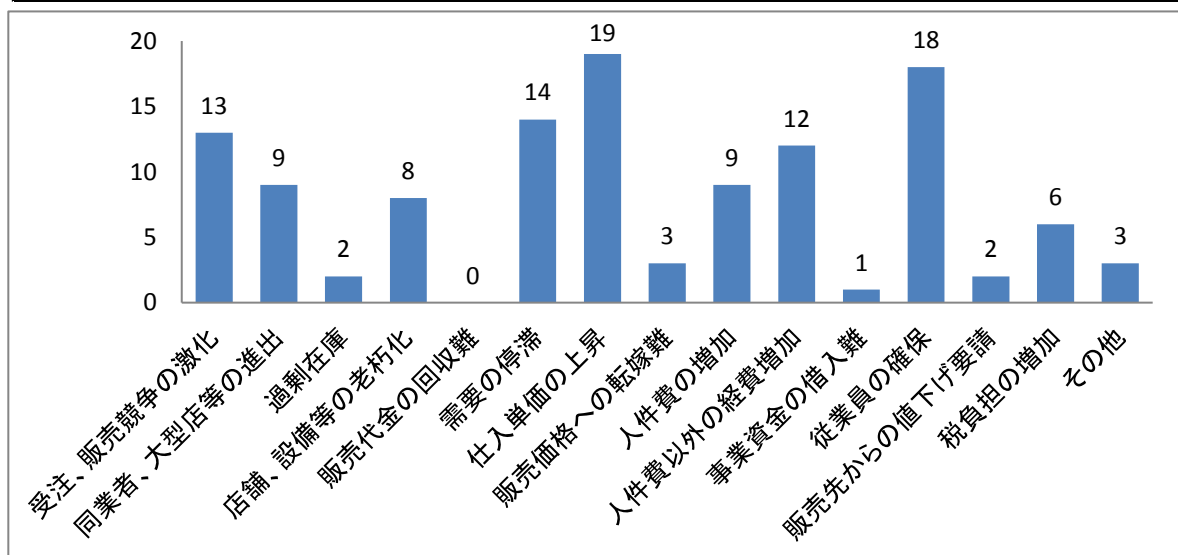
【景況判断】

景況判断は、前年同期比、前期比ともに不変または悪化とした事業所が90%であった。
 今後の見通しにおいても、86%の事業所が不変または悪化と回答しており、厳しい状況が続くと予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
5	34	11	5	33	12	7	31	12

【経営上の問題点】

経営上の問題点は、仕入単価の上昇が最も多く、次いで従業員の確保、需要の停滞、受注・販売競争の激化と続いている。
 また、人件費以外の経費増加、同業者・大型店等の進出、人件費の増加など問題点は多岐に渡っている。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

製造業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・インターネットを活用した販路開拓
- ・宣伝活動

地区内製造業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比では、不変とした事業所が63%と最も多く、次いで好転が25%であった。前期比及び今後の見通しにおいても、不変とした事業所が75%と最も多く、次いで好転、悪化がそれぞれ13%であった。経営上の問題点として、一番多くあがったのは仕入単価の上昇で、次いで人件費以外の経費の増加、販売先からの値下げ要請をあげる事業所もあり、仕入単価の高止まりによる採算への影響が懸念される。

(2) 建設業

建設業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・労働内容の効率化

地区内建設業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比では、不変とした事業所が89%と最も多かった。前期比においても、不変とした事業所が78%と最も多く、次いで好転、悪化がそれぞれ11%であった。今後の見通しでは、不変とした事業所が44%と最も多いものの、その割合は前年同期比、前期比より少なくなり、好転が33%をしめており、明るい兆しと受け止められる。

経営上の問題点として従業員の確保をあげる事業所が多く、建設需要の増加により、人手不足が顕著になっている。

(3) 卸・小売業

卸・小売業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・駐車場の不足
- ・増税に関連してカード払い機の導入（設備投資）

地区内卸・小売業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比では、不変、悪化とした事業所がそれぞれ50%であった。前期比においては、不変とした事業所が58%と最も多く、次いで悪化が42%であった。来期の見通しにおいても、不変とした事業所が50%と最も多く、厳しい状況がうかがえる。

経営上の問題点として、受注・販売競争の激化、需要の停滞をあげる事業所が多く、大型店への顧客流出等による厳しい状況が続いている。

(4) サービス業

サービス業者から今後の事業・経営において強化したい点としてあがった意見は次のとおり。

- ・人材育成
- ・出店候補地の視察・現地調査
- ・タイムマネジメント
- ・販路開拓
- ・新サービス・新事業の展開
- ・従業員教育
- ・地元の取引強化

地区内サービス業に係る景況状況は、景況判断によると前年同期比では不変とした事業所が71%と最も多く、前期比、来期の見通しにおいても、ほぼ同様であった。

経営上の問題点として、一番多くあがったのは従業員の確保で、次いで仕入単価の上昇、人件費の増加、需要の停滞であった。有効求人倍率の上昇により人材の確保が難しくなっていることがうかがえる。

